

令和5年12月15日

古賀市議会
議長 渡 孝二 殿

JR古賀駅周辺開発調査特別委員会
委員長 森本 義征

JR古賀駅周辺開発調査特別委員会中間報告書

本委員会に付託された事件について、6月30日、7月12日、8月18日、9月12日、10月13日、10月30日、11月20日、12月7日に委員会を開催し、調査・研究に際しましては、必要に応じて建設産業部長、古賀駅周辺開発推進課に出席を求め、事業に関する説明を聞くと共に質疑を行いましたので、下記のとおりその調査・研究状況を会議規則第45条第2項の規定により中間報告をいたします。

記

本委員会は、令和5年第2回定例会において、議員発議によって設置議案が提案され、可決成立した特別委員会であります。

提案の趣旨は、JR古賀駅西口及び東口周辺の開発における古賀市全域及び地域社会の諸課題を探索するとともに、魅力ある地域及び観光づくり、防災機能を有する公園整備、移住促進、多様な移動手段に関する施策等について、一体的、横断的、集中的に調査・研究を行い、執行部に対して提言等を行うことを目的とするもので、特別委員9名で設置されました。

これまでの間、8回にわたり委員会を開催しております。

古賀駅周辺開発推進課からは、JR古賀駅東口周辺地区まちづくり基本計画、JR古賀駅東口周辺地区整備基本計画、JR古賀駅東口周辺地区まちづくりガイドラインの説明を受け、その後8月18日には、開発地の模型等による詳細な説明も受けたところです。

委員会では、調査・研究すべき事項について委員で抽出した結果をまとめ、担当課に対して提起しました。

委員会で調査・研究すべき事項としては、1. 現地視察について、2. 専門家からの意見聴取について、3. 地元住民との意見交換について、4. 各課題の調査・研究について、等とすることを確認いたしました。

これを受けてこの4つの項目について取り組みました。まず、1つ目の現地視察は、9月12日に、JR古賀駅東口・西口周辺を徒歩にて視察を行いました。2つ目の専門家からの意見聴取につきましては、数回の委員会討議を行い、全員同意の下で委員会とは別に11月20日に「まちづくりデザイナー」の「戸田三喜郎氏」をお招きして意見交換会を行いました。戸田氏は、

福岡県の事業であります、福岡市大濠公園内の「大濠テラス」の設置に携わった方で「Park-PFI」について非常に参考になりました。3つ目は、地元住民との意見交換につきまして、本委員会では行わないと決定しました。

4つ目の課題につきまして主なものは、

- 1、JR 古賀駅周辺開発全体（西口・東口）の事業計画について
- 2、JR 古賀駅舎・駅前広場について
- 3、JR 古賀駅周辺の交通施策について
- 4、JR 古賀駅周辺の安全安心な都市構造について
- 5、JR 古賀駅周辺の定住化促進について
- 6、公園の機能整備について

の6項目を中心に調査・研究を行ってきました。

委員会での質疑を通して明らかになったことを抜粋して報告申し上げますと、全体の事業規模について、今年度見直しを行っているため、見直しが完了次第確認することとしております。

事業計画の進捗状況については、当初計画から2年遅れて、令和6年度、7年度に都市計画等の決定を行う予定とのこと。

計画が遅れている原因については、関係者との調整に時間を要しているためとのこと。

駅舎・駅前広場では、駅舎の複合化については検討していないとのこと。

交通施策では、周辺道路の渋滞緩和、解消対策について検討中であるとのこと。

駐車場については、公営で設けず、民間活力を検討中とのこと。

安心安全な都市構造という面では、事件、事故、災害に強い都市構造をめざすとのこと。

定住化促進では、東口周辺整備による集合住宅数は、285戸で900人の居住者を見込んでいるとのこと。

公園の機能整備では、公園とリーパスプラザとの横断橋について検討中であるとのこと。

今年執行部が取り組んだ主な事業としては、10月20日に「古賀駅西口周辺整備に向けた社会実験について」の説明会を開催し、11月15日から11月26日まで交通社会実験を実施し、11月25日には「古賀駅西口エリアまち歩き・アーバンスポーツチャレンジ IN 古賀」を開催し、翌月12月8日には「JR古賀駅東口周辺道路の整備方針」について説明会が行われています。

以上、これまでの経過についての概要を述べました。委員会では、活発な調査・研究活動に努めております。今後の予定としましては、今年度中に調査・研究を深め、提言等について取りまとめたいと考えております。議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げ、JR古賀駅周辺開発調査特別委員会の中間報告といたします。